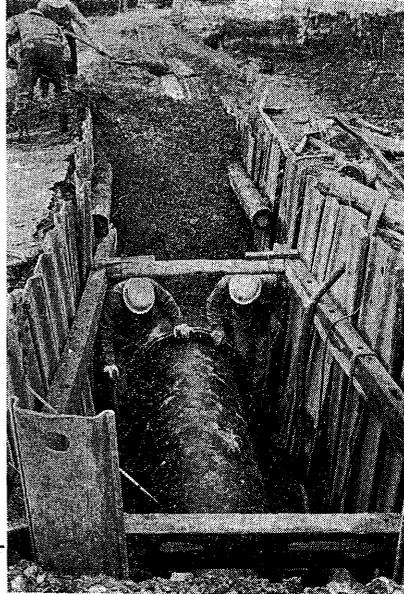


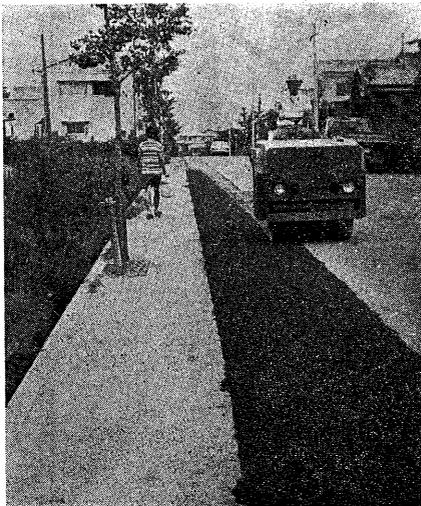
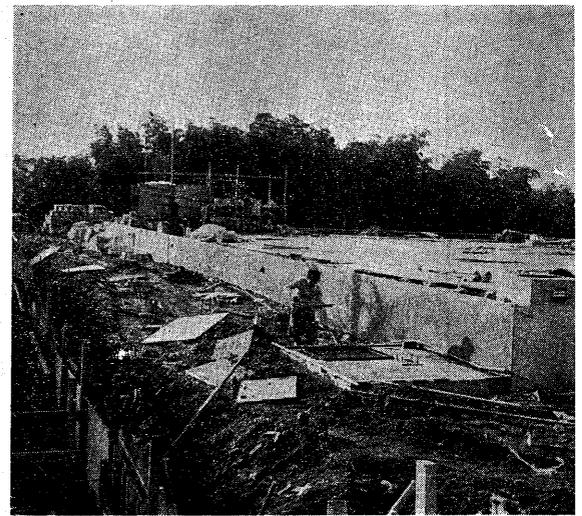
神明配水池
 おもに広野町と神別の高台地域に
 給水するための配水池で容量は六
 百立方メートル。これで同地域の
 水圧低下はなくなりました。

大詰を迎えた第

- ☆……豊富で良質な水——水がなくては私たち
- ☆……急増とともにどんどんふえる水の需要にこ
- ☆……計画で、「第2次拡張工事」をすすめてきま
- ☆……ポンプ場2カ所、配水池を5カ所、宇治川水管
- ☆……3万3千メートルなどを完成。本号では、第2次
- ☆……ここに、工事へのご協力に対しお礼を申し上げます

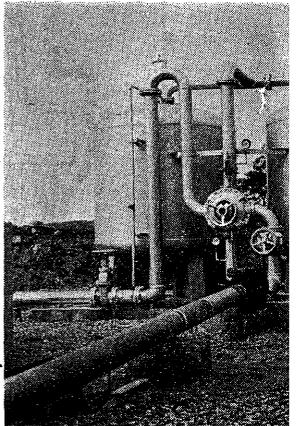


ぐんぐん延びる幹線
 口径七百ミリの配管を布設する横島幹線工事。
 第2次拡張工事では、このほか、伊勢田大久保幹線、
 菟道車田幹線、小倉幹線など、延べ三万三千メー
 トルを布設しました。



路面の復旧工事
 水道工事で道路を掘り返したあ
 との路面復旧工事。
 (木幡御藏山住宅街で)

急速ろ過機
 鉄分やマンガンなどの不要物質をと
 り除くため、宇治浄水場に新設され
 た急速ろ過機。
 これまで苦情のあった赤い水も解消
 しました。

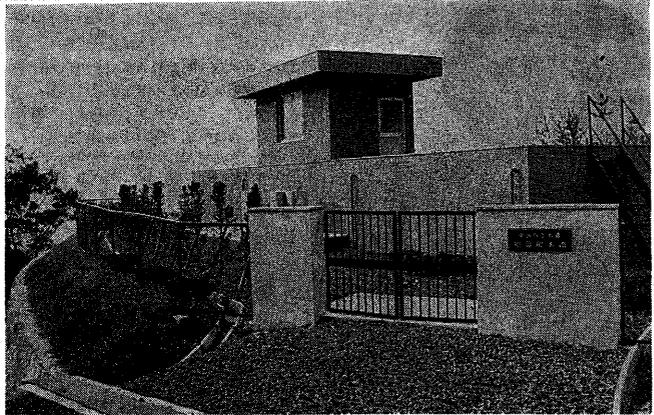


水道管の破損や、ろう水
 など、水道の故障の時は
 もよりの公認業者にご連
 絡ください。

- | | | | | | | | | |
|--|--|---|--|--|--|---|--|--|
| 山田工業所
宇治市横島町園場二九
電話三二一五三三二番 | 森田水道工業所
宇治市宇治妙楽七三
電話二一三四二九番 | 森工業所
宇治市大久保町北ノ山九三
電話四三一一四七四番 | 西田工業所
宇治市木幡南端二八
電話三一八二五五番 | 西岡工業株式会社
京都市伏見区鷹匠町一七
電話〇七五二五三二一三番 | 南郷工業所
宇治市宇治乙方三六
電話二一二三三〇番 | (有)南郷工業建設所
宇治市宇治一番一六二
電話三二一二四七八番 | (有)照喜名工業所
宇治市宇治戸ノ内二七
電話三二一三六六一番 | 関口工業
宇治市菟道門ノ前四ノ二
電話三二一八三三八番 |
|--|--|---|--|--|--|---|--|--|

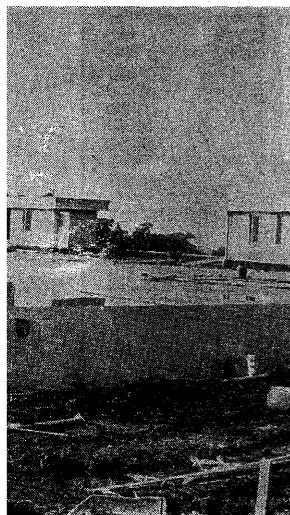
第2次拡張工事

は一日も生活することはできません。市では、人口……
 たえるため、昭和43年度から今年度までの5カ年……
 した。この工事の総事業費は12億8千万円で、……☆
 橋、口径100ミリから800ミリの配水幹線延長……☆
 拡張工事の主な施設を写真で紹介いたします。……☆
 ……☆



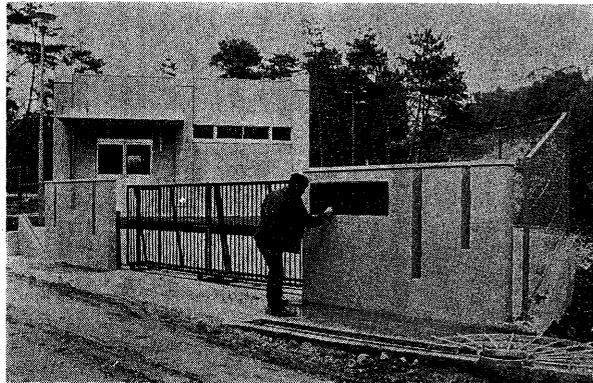
木幡須留配水池

木幡丘陵地帯に給水するための配水池で、容量は800m³。豊富な水を高台地域へお届けすることができます。



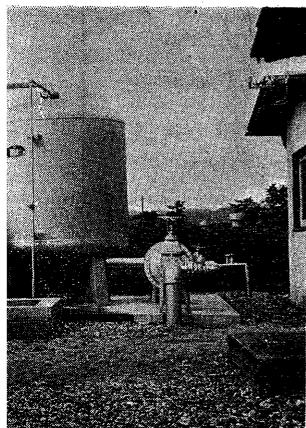
宇治下居配水池

京都府山城水道から浄水の供給を受ける拠点となるもので、総工費八千六百万円で昨年三月から着工。
 今月末完成する予定です。容量は五千四百立方メートルで、この配水池を通じて各地域に送水されます。



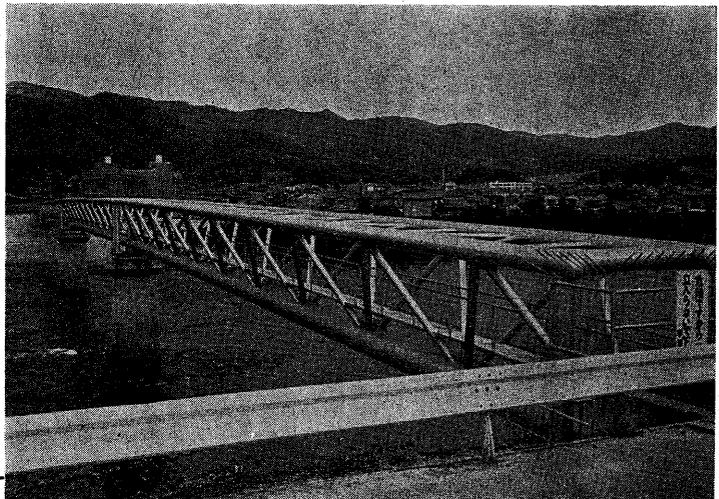
広岡谷ポンプ場

須留配水池へ送水するための加圧ポンプ場。このほか、菟道森本にも加圧ポンプ場を建設しました。



宇治川水管橋

東宇治地域の必要を満たすために計画され、総工費約一億円で、四十六年七月完成。
 植島町北内と菟道車田のあいだ百七十七メートルを結ぶもので、直径七百ミリの水管橋が宇治川にすえつけられました。



宇治市公認水道
 工業協同組合
 (アイウエオ順)

朝日建設工業株式会社
 宇治市宇治半白一八
 電話二二二一八五番

株式会社新下工業
 京・伏見区桃山福島大夫西町六
 電話(五六一)二七五七番

池田工業所
 宇治市木幡河原一四
 電話三二二六八〇番

宇治川工業所
 宇治市五ヶ庄上村一六
 電話三一八六八八番

ウチラ工業
 宇治市広野町東裏二二
 電話四三一一一四一四番

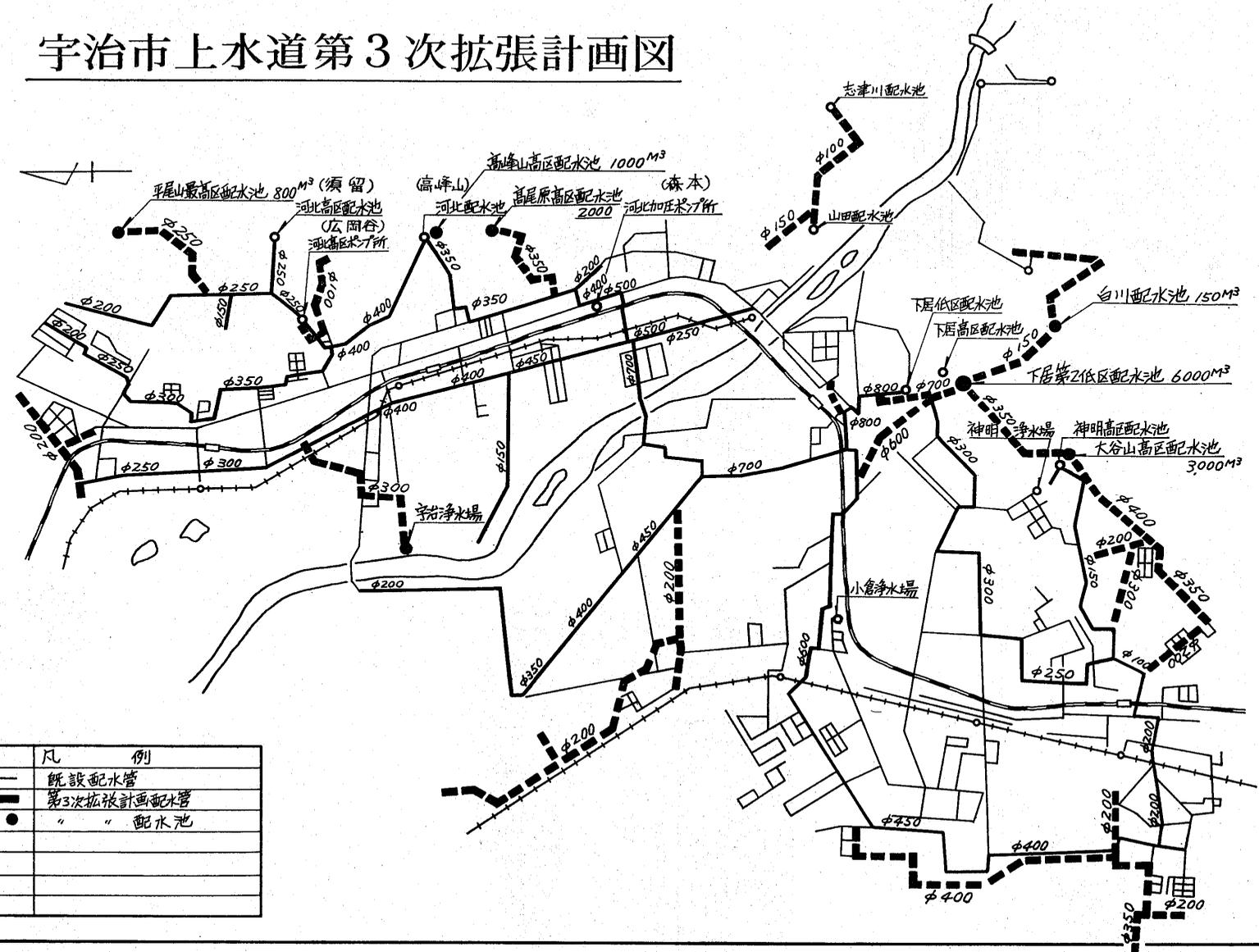
植田ポンプ株式会社
 宇治市小倉町東山三
 電話二二一五二二三番

加賀工業所
 宇治市木幡東中二六ノ一
 電話三一五八一五番

木下商店
 宇治市小倉町寺内六七
 電話二二二六八九番

久保田工作所
 宇治市宇治一番一五四
 電話二二二三八五番

宇治市上水道第3次拡張計画図



凡 例	
—	既設配水管
- - -	第3次拡張計画配水管
●	配水池

第3次計画のあらまし

- ▶ 総事業費 17億4,000万円 (うち起債額15億円)
- ▶ 給水人口 昭和55年の市内人口17万9,400人、給水人口を16万8,600人とする
- ▶ 1人1日当たり給水量 生活様式の変化などを見こんで500ℓとする
- ▶ 1日最大給水量 84,300トン
- ▶ 完成年度 昭和52年度
- ▶ 事業概要
 - ・市内全域の給水能力をたかめるため、容量6,000ℓの配水調整池を宇治下層に新設。
 - ・宇治浄水場の1日最大給水量を3,000ℓから5,000ℓに拡張し、老朽施設を改築する。
 - ・東宇治高台地区の需用に備えるため、木幡平尾山に容量800ℓ、五ヶ庄高峰山に1,000ℓ、菟道高尾原に2,000ℓの配水池をそれぞれ新設する。
 - ・神明広野高台地区に給水するため、宇治野神に容量3,000ℓの配水池を新設する。
 - ・現在、京都市から分水を受けている六地藏地区に対し、宇治市から給水するため配水管の整備をする。
 - ・志津川の簡易水道を廃し、給水区域に編入するため、配水管を新設する。
 - ・宇治折居および白川地域の需用に備えて、150ℓの配水池を白川に新設する。
 - ・大久保伊勢田地区の水圧低下を防止し、需用の増大に対処するため配水管を新設する。
 - ・小倉地区の水需用の増大に対処すると共に、西目川地区に新たに給水するため、配水管を新設する。
 - ・その他送配水管を20.0ℓにわたって新設するほか、赤い水の解消や水圧低下の防止、漏水対策のため、既設管の取りかえを行なう。